

学校 番号	58	学校名	伊那北高等学校
----------	----	-----	---------

平成 29 年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【平成 29 年 7 月 20 日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 委嘱状交付
- 2 学校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 本校の概況について（学校からの報告）
 - (1) 学習・進路指導について
 - (2) 生徒指導について
 - (3) 特別支援教育及びスクールカウンセラーの活用について
 - (4) クロスペンアカデミーについて
 - (5) 学校評価について
 - (6) その他
- 5 意見交換
- 6 学校長挨拶

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 本年度の学校評議員は 7 名中 4 名が交代した。本年度も継続性と新たな視点及び様々な立場からの意見をお聞きするとともに、昨年度に引き続き特別支援教育の専門家、理数科の課題研究の支援をお願いするため信州大学農学部教授を委員に委嘱し、より本校の課題へ対応できるメンバー構成とした。
- 2 資料を簡潔なものとし、本校の現状と課題を明確に示すことにした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 学校教育全般について
 - ・災害への備えを含む安全管理を適切に行うようにしてほしい。
 - ・学校が大切にしている文武両道の精神は、今後も大切にしてほしい。
- 2 生徒指導及び基本的な生活習慣について
 - ・高校におけるライン等のトラブルの実状について（生徒指導主任より回答）
- 3 学習・進路指導について
 - ・理数科教育の成果（普通科との違い）をどのように捉えているか。単に知識の獲得、蓄積に留まらず、思考力、判断力、表現力を身に付ける教育を行ってほしい。
 - ・英語教育について、読解力や文法等の受験に関係する力だけでなく、会話に関する力（聴く、話す）を伸ばすための取り組みを進めてほしい。
 - ・平成 29 年度入試（平成 28 年度センター試験）の総括をし、次年度入試に活かしてほしい。
 - ・生徒が大学卒業後、地元に戻ってくるようにするための指導をしてもらいたい。
 - ・「主体的、対話的で深い学び」の推進と入試に対応するための学力の向上という両面のバランスを考慮し、学習活動を充実させてほしい。
- 4 その他
 - ・29 年度の重点目標の一つである「挨拶・清掃を徹底して人として基本的な力を身に付け・・・」に関しては、大切な部分であるので、継続して取り組むように期待したい。
 - ・進学には家庭の経済面が大きく影響する。そのような点に関して学校はどのような支援を行っているか。（教頭より回答）
 - ・学校評議員会における協議内容等については、積極的に PTA 等に情報を流してほしい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 1 学校の様々な教育活動及び生徒の様子に関しては、一定の評価をしていただいたが、さらに改善・向上を期待するご意見も数多く寄せていただいた。
- 2 指摘を受けた「安全管理」、「理数科教育の充実」、「英語教育」、「主体的、対話的で深い学び」等については、校内の該当教科、担当係等を中心に学校全体で議論を深め、より具体的な方策について検討していく必要がある。
- 3 第1回目の学校評議員会であり、昨年度から4名の方が入れ替わったこともあり、学校からの説明を丁寧に行ったため、協議の時間が予定より短くなってしまった。より多くの内容について話題にしつつ議論が深められるよう、内容の精選及び時間配分の改善を検討したい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。